



NOBEOKA
ART EXHIBITION



いちばん近いアート展

入賞・入選
目 録

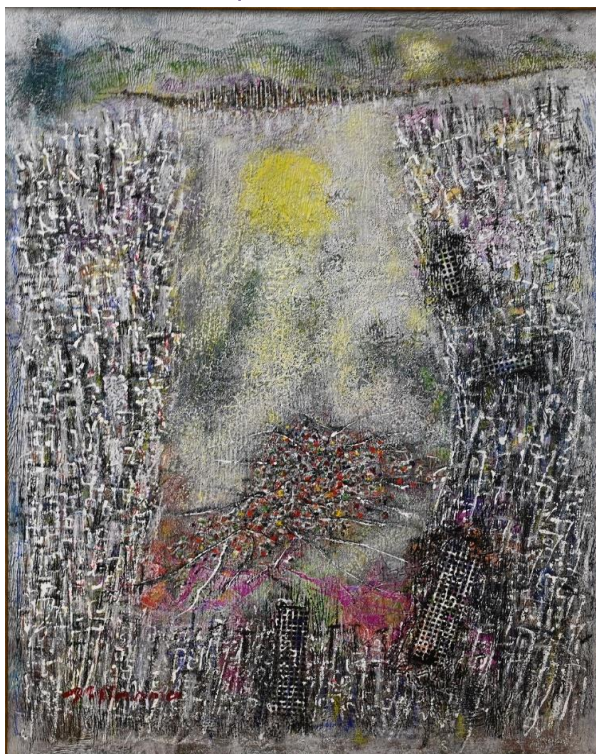
特 選
延岡市長賞

鳥瞰「大都市の陰と陽」(アクリル)

蓑毛 覚

講 評

ローラーを使った下地作りからパステルの刷り込みまでが連動し、大都市のコンクリートジャングルの光を想起させてくれる秀作です。「鳥瞰」シリーズの代表作になるのではないのでしょうか。画面への行為と自分の中のイメージが繋がる感覚を実感しながら制作しているのがわかります。これから多くの作品を楽しんで制作されることを期待します。



準特選
延岡市教育長賞

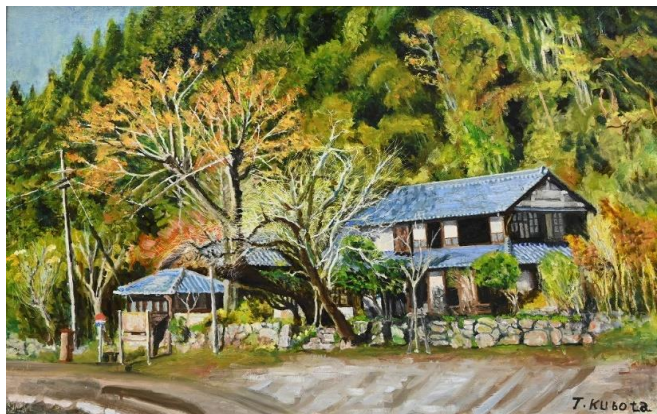


踊子町三姿(日本画)
外山 範雄

講 評

にかわ絵具へのこだわりと細部への描き込みが作品の説得力に繋がっている、レベルの高い作品です。ただ、私の好みかもしれませんが、石畳の光量が多いため、少女達の妖美な雰囲気は損なっているように感じます。もっと素材の特性と技法が効果的に表現内容と連動させるようになれば、さらなる高みへ向かえると思います。

準特選
延岡市文化連盟会長賞



センダンの実うれた牧水の生家(油彩)
窪田 利重

講 評

最初は何気ない風景画に見えたのですが、建物の周りの光がとても心地よく感じました。題名を確認したところ「牧水の生家」とあり、この作品の魅力が大きく増しました。「これを描きたい!」という強い気持ちがあるからこそ鑑賞者の目を惹くのだと思います。特別なことをしなくても、自分の感動を素直に表現することも素敵だと再認識しました。



絵画部門審査員

大泉 佳広 (2回目)
宮崎大学教育学部 准教授

入賞作品

無鑑査

奨励賞

三谷文男

記紀の湖水(油彩)

八木隆幸

まるの詩・2025-04-17
(油彩とペン)

延岡市議会議長賞

奨励賞

眞田昌良

早朝、飛びかう競り(水彩)

坂元紀雄

舗道の中で『糸』
(ミクストメディア)

旭化成(株)延岡支社長賞

奨励賞

市原哲郎

出逢いの日(水彩)

米良俊男

奄美幻想(水彩)

延岡市医師会長賞

奨励賞

矢野環

Tateyama Renpo(水彩)

野村幸枝

これからも手足揃えていきましょか
(油彩)

延岡市美術展覧会運営委員長賞

(第5回みやざき総合美術展 特選・宮崎日日新聞社長賞)

努力賞

柚木崎睦人

大御神社(油彩)

プラチナ賞

川内寧彦

夏雲(水彩)

入選者

峯田康弘

秋のモミジバフウⅡ

油彩

白石幸代

サンメッセ

油彩

大山久雄

願いをこめて

油彩

長沼弘三郎

月花

油彩

高山好二

浦城の海

水彩

甲斐幸信

窓辺の風景

水彩

戸高秀喜

高千穂峡 三大橋

日本画

上山晴久

春浅し(沖田川)

油彩

福島千明

6月の雨

パステル・アクリル

久保ケイ子

里の秋

油彩

森本洋通

GOKASE AYUYANA

水彩

佐藤京子

Futari de

水彩

横山優

鹿川溪谷

油彩

南義信

行滕の秋

パステル

日高すみ子

虹澗橋

油彩

吉田千代子

未来

パステル

甲斐美登

里の溪谷

油彩

高橋博和

エンジェルラダー

油彩・エアープラシ

宮井久美子

森の夜明け

水彩

甲斐トシ子

食材

アクリル

原浪代

縄文杉

水彩

秋本智子

大手毬の祝福

水彩

佐多光夫

日本古来の名園

水墨画

彫刻・工芸部門



特 選

延岡市長賞

いち円(陶芸)

坂元和緒

講 評

この作品は、確かなろくろの技術の上に朗らかな意匠が相俟って大変魅力的な表情を見せています。特に側面にちりばめられたメダル状の装飾は、軽快なリズムを生み、観る人に楽しさと心の安らぎを与えてくれます。

準特選

宮崎県知事賞

月下美人(友禅染)

壱岐陽子



講 評

花咲く月下美人の面白い形態と、白く繊細な花の姿が優雅に描かれています。特に灰味がちな薄紅色の地色は、月下美人の若緑と白の色相をよく引き立てて秀逸です。

準特選

延岡市文化連盟会長賞

癒やし(パッチワーク)

森本陽子

講 評

キルティングや刺の二混合技法による絵画的表現が感動的な作品です。各々異なった画題と表現が示されていますが、繊細な技法ながら煩雑とはならず、観る人にまさしく癒しを与えてくれます。特に配色計画が見事で、的確な布選びがなされています。



彫刻・工芸部門審査員

辻嶋 寿憲 (6回目)
九州産業大学造形短期大学部教授

入賞作品

無鑑査

奨励賞	森 福子	薄紅の安らぎ(ちぎり絵)	原辰義	追憶(剪画)
旭化成(株) 延岡支社長賞				
奨励賞	西村 綾香	夢現(染色)	甲斐卓雄	2008 (poaching) アフリカの闇 (彫刻)
延岡商工会議所会頭賞				
奨励賞	是則 理恵	Let's enjoy music (パッチワーク)	中村有子	金彩幾何紋八角柱器「パリの集い2024」 (陶芸)
JAみやざき延岡地区本部長賞				
努力賞	福島 蓮	暗黒騎士(彫刻)		
プラチナ賞	田中 孝一	テンセグリティ(彫刻)		

入選者

関武司	八角陶	陶芸
秋本富美子	無双カゴ	竹細工
川崎えつ子	花夢想	刺繍
副島のはら	面影	染色
岩田友梨渚	8月31日	染色
小原美咲	軟体	彫刻
原田真優	噴火	陶芸
高橋博和	アレブリヘス	彫刻
工藤武人	華器	陶芸
松田美智子	銀河鉄道にのって我が家へ	パッチワーク
藤岡郁子	溪谷の花火	パッチワーク
堤和子	情熱のカサブランカ	パッチワーク
佐藤幸子	黄色いばら	ちぎり絵
甲斐富美子	モネの「睡蓮」に魅せられて	パッチワーク
中野小百合	補聴器	彫金
高吉照美	滝音涼し溪谷の初夏	陶芸
高橋ユキミ	しかられて(童謡より)	パッチワーク

書道部門

特選

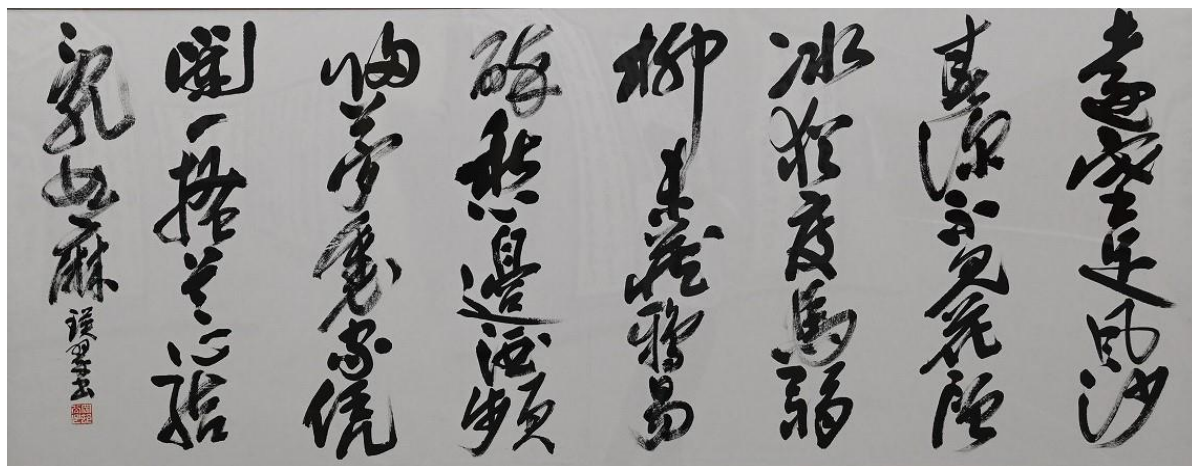
延岡市長賞

春日大風感懷

岡村公子（瑛翠）

講評

数ある横形式の作品の中で、最初に目にとまった作。張端図の作品をも彷彿とさせる流麗な筆致で風格のある快作。文字の大小と墨の潤滑の変化が実に巧妙で素晴らしい。



準特選

宮崎県教育長賞

枕草子

伊藤由美子（春華）

講評

字形が気品のある独特な世界を表出している。余白が実に美しく、穂先を駆使した鋭い筆致も見事。散らしと潤滑の巧妙な展開が紙面を格調高く見せている玉作である。



準特選

延岡市教育長賞

出郷作

松田栞音（聖麟）

講評

緊張感のある筆致で作品展開のコツを心得た素敵な連綿作。線質と潤滑の変化が抜群で何とも言えない魅力を感じる。二行目の「樹・聲・剣」の見せ場といえる表現が素晴らしい秀作。



書道部門審査員

松元 碩洲 （初）
日展会友

奨励賞 植野洋一(桂石) 孫蕢詩

宮崎日日新聞社賞

西村寿洋(玄洋) 過城陵磯

奨励賞 甲斐かおり(香風) 出門

延岡市歯科医師会会長賞

城戸雅子(富翠) 「和紙の美」の一節

奨励賞 城戸裕行(凰翔) 江津送劉光祿不及

ケーブルメディアワイワイ賞

大塚洋子(葉風) 歩虚詩

奨励賞 興梠ふみ(史翠) いにしへの

延岡市美術展覧会運営委員会会長賞

原田さゆり(桑峰) 六観堂老人

努力賞 甲斐タツ子(柏苑) 天安寺

山浦秀子(柏秀) 客中夜坐

プラチナ賞 上野和子(和風) ほのぼのと

西村亜希子(一華) 雨篷

尾崎真人(宝舟) 禪語

◆ 入選者

田口智子(春汀) 小塩山
山本加代(濤香) 雑感其二
平野優子(佳芳) 夜坐
中田由美子(聖泉) 高青邱詩
前田美千代(春濤) 亡母の短歌4首
山口幸代(幸苑) 蕭谿議
飯千朗(千峰) 重遊金粟寺有作
上杉秀子(秀香) 寄吳彦升
植野識 臨小島切
海老原実結 杜甫詩三首
植野訓 臨王鐸
岡田葵 魏靈藏造像記
山内美智子(英智) 擬古答澤民
牛迫孝子(春香) 高明詩
甲斐洋子(春宵) 高青邱詩
河内真弓(柏真) 雪景、魚蟹
丹波のり恵(瑤翠) 登浦上閣

小野静(麗華) 過白鶴溪
原田佑香(香陽) 白紵辭
小坂千代子(千草) 李商隱詩
渡邊康子(翔香) 聽雨
甲斐睦子(柏葉) 江閣邀賓許
西田登美子(美風) 漢詩

写真部門

特 選 延岡市長賞

初夏の教会 前田徳子

講評

撮影場所の選び方が良く、ホタル、星の流れ、そして教会の中に人物を配した演出が見事です。夏の夜のメルヘンチックな絵画的作品として評価しました。どのような作画技術か分かりませんが作者の作品制作の計算が見事です。



準特選

延岡市教育長賞 春に包まれて

植野浩人



講評 記念写真的作品は結構難しいテーマですが、この作品は撮影場所設定が良く、二人の明るい表情を捉えたシャッターチャンスが見事であり爽やかな作品に仕上がりました。主題の人物に対して周辺の配し方など作者の撮影技量が素晴らしい。

準特選

延岡市文化連盟会長賞 オスプレイダイブ

高萩和夫



講評 ミサゴの作品は殆ど捕食のシーンですがよく見かける写真は評価が低くなります。この作品はミサゴが海に飛び込んだ瞬間の飛沫の迫力を捉えました。あまり見た事のない作品であり大きなサイズでの出品により作品内容を強くしました。



写真部門審査員

蜂須賀 秀紀 (4回目)
二科会写真部名誉会員

入賞作品

準特選

延岡市文化連盟会長賞

サンセット オキナワ

多田綾子



講評 組写真は1枚でも弱い作品が入ると失敗しますが、この作品は4枚全て上手く撮れています。組写真にする事により作者の狙いが強調出来ています。撮影技術と作品発表方法など写真感覚が素晴らしい。

入賞作品

無鑑査

奨励賞

酒井佳紀

神様がくれたご褒美（高千穂）

延岡市議会議長賞

甲斐靖一

初夏の夜の竹林

奨励賞

富山隆志

花屏風

延岡市医師会長賞

後藤司郎

ある印象

奨励賞

島田眞由美

母性愛

タ刊デイリー新聞社賞

奨励賞

萩原裕史

舞姫

延岡市西臼杵郡薬剤師会長賞

奨励賞

福良千鶴子

Splash

センコー（株）延岡支店長賞

奨励賞

家森忠雄

秋の終章

延岡観光協会賞

奨励賞

白谷俊一

火踊り

清本鉄工（株）社長賞

奨励賞

押方徹

初舞台を踏む

延岡市美術展覧会運営委員長賞

努力賞

富山恵

彩虹

プラチナ賞

大山久雄

空を彩る瞬間

いちばん近いアート展





後藤雅之	蓮美人
松尾香代子	浜辺のモンスター
長友道生	晩秋
笠村陽一	あ！やっちゃった！
川越洋治	草原のカンムリヅル
池田晃二	乱舞
伊東英一	棚田の案山子
菊池貢	初泳ぎ
千葉雄一	ささらぎの時
大津由吏江	神代の息吹
武田佐和子	ここで生きていく！
川端章	春雨の頃
堀田宗範	1/6秒の逡巡
後藤純子	疾走
福川原敏憲	原風景
小松清春	森の宝石
松本久美子	GO！Shoot！「水を噴き放つ」
甲斐清子	雨のラグビー
佐藤卓志	遊泳
村上和孝	天地に届け
胡元一夫	水先案内
杉本武揚	only light、many shadows
後藤秀彦	朝の光を浴びて
吉岡憲生	備長炭
宇都宮一公	気嵐に包まれた朝
村上保予	慈愛
長友あけみ	紅をさしましょう
鋤本勝晃	beautiful day
足立一美	森の宝石
甲斐桃華	小さな手に大きな出会い
弓削正寛	春のたのしみ
芥美奈子	月冴ゆる
清永俊	碧に散る鐘の音
山田悦子	花いかだ
雀ヶ野秀憲	トンネルを抜けると？
山内彰一郎	春に並んで
日高杏樹	熱演

デザイン部門
特 選
延岡市長賞



影を恐れ 迹を悪む(イラストレーション)

中原さら

講 歪んだ空間、逃げる少女と追う影、故事成語でもあるコピーもイラストとして溶け込みインパクトのある
評 作品です。不安を抱え疲弊した現代人が多いと感じられる今の世の中に訴えかけるメッセージ性を強く
感じました。

入賞作品

無鑑査

木田 亜子

陰陽魚 マイクロプラスチック(グラフィックデザイン 連作)

努力賞

谷本桃乃

タコ足配線(グラフィックデザイン)

◆ 入選者

大神愛莉 決めてなんかいられない！(グラフィックデザイン)
Emi 莓いち絵 追憶(デジタル描画)
賤前洋子 吾唯足知(グラフィックデザイン)



デザイン部門審査員

川村 景子 (初)
久留米連合文化会デザイン部会員
宮崎県立日南くろしお支援学校美術教諭

審査講評 【絵画部門】

講評

昨年に引き続き今年も延岡市美展の審査をさせていただきました。昨年と変わらず、多くの方が日々楽しんで絵を描かれているようで喜ばしい事です。私の主観的印象かもしれませんが、今年は昨年よりもととのった作品が多かったように感じました。昨年の「他者に伝わるように最善を尽くさなくてはいけない」という私の講評文による結果だったとしたら、手前味噌かもしれませんが嬉しい限りです。

このような昨年からの流れを持って審査会場の作品を見渡したところ、今年は画面の中に光が満ちた秀作がたくさんありました。大都市の中や街角の光、自然の中の光、南国宮崎らしい光、それぞれの作家性による光の解釈を読み取りながら審査を進めました。展示全体の方向性として、その「こだわり」と「総量」で順位づけしていくことは私の中で自然な流れでした。そのため、シュール的やフォーブ的な「奇をてらう」ような表現は今年の私の審査方針から外れてしまい、力量のある作品を選外にしなくてはならなかったことが心残りです。しかし、心残りですが、この結果は絵画部門の展示全体として、間違いなく私の芸術観を表したものですのでご容赦ください。

また、今年気になった事です、写真の活用の仕方が稚拙な作品が何点かあったことです。私は、写真を基にして描くこと自体は悪いことではないと思っています。スマホをほとんどの方がいつも持ち歩いているのですから、利用しない方がもったいないとも思っています。しかし、写真の通りに描けば完成という感覚でいると、折角の絵画表現の楽しみの多くを味わい損ねていると思います。トリミングから始まる絵作りの楽しさに早く気づいて欲しいです。そして、絵作りの中での微調整の繰り返しによって作者のセンスが作品ににじみ出るものだと私は考えています。これからも自分にとっての傑作を追い求めていかれることを願っております。

特選(蓑毛氏)

ローラーを使った下地作りからパステルの刷り込みまでが連動し、大都市のコンクリートジャングルを光を想起させてくれる秀作です。「鳥瞰」シリーズの代表作になるのではないのでしょうか。画面への行為と自分の中のイメージが繋がる感覚を実感しながら制作しているのがわかります。これからも多くの作品を楽しんで制作されることを期待します。

準特選(外山氏)

にかわ絵具へのこだわりと細部への描き込みが作品の説得力に繋がっている、レベルの高い作品です。ただ、私の好みかもしれませんが、石畳の光量が多いため、少女達の妖美な雰囲気損なっているように感じます。もっと素材の特性と技法が効果的に表現内容と連動させるようになれば、さらなる高みへ向かえると思います。

準特選(窪田氏)

最初は何気ない風景画に見えたのですが、建物の周りの光がとても心地よく感じました。題名を確認したところ「牧水の生家」とあり、この作品の魅力が大きく増しました。

絵画部門審査員

大泉 佳広
宮崎大学教育学部 准教授



審査講評

【彫刻・工芸部門】

講評

本年度の彫刻・工芸部門には、36点の応募作品があり、その中から25点の作品を入選といたしました。いずれも作者の情熱と努力がうかがえる作品ばかりでしたが、何点かの作品を選外とすることには、心の痛みを覚えました。しかしながら美術展の入選作品となるには、一定以上の完成度の高さが求められますので、選外となった作者の方々には、更なる技術の向上と創意工夫を望みます。彫刻・工芸部門には高齢の出品者が多い中、今回は染色と彫刻の分野に若い世代の出品が多数ありました。技術的にはまだまだ粗削りな点もありますが、各人の想いを意匠に込めて、真摯に制作に取り組んだ力強い作品ばかりでした。

それでは、特選・準特選の作品について、評価点を簡単に述べたいと思います。

特選 延岡市長賞【いち円】

昨年に続き今年も、陶芸分野には、個性的で完成度の高い作品が並びました。その中でもこの作品は、確かなろくろの技術の上に朗らかな意匠が相俟って大変魅力的な表情を見せています。特に側面にちりばめられたメダル状の装飾は、軽快なリズムを生み、観る人に楽しさと心の安らぎを与えてくれます。

準特選 宮崎県知事賞【月下美人】

花咲く月下美人の面白い形態と、白く繊細な花の姿が優雅に描かれています。特に灰味がちな薄紅色の地色は、月下美人の若緑と白の色相をよく引き立てて秀逸です。

準特選 延岡市文化連盟会長賞【癒し】

キルティングや刺の二混合技法による絵画的表現が感動的な作品です。各々異なった画題と表現が示されていますが、繊細な技法ながら煩雑とはならず、観る人にまさしく癒しを与えてくれます。特に配色計画が見事で、的確な布選びがなされています。



彫刻・工芸部門審査員

辻嶋 寿憲

九州産業大学造形短期大学部教授

審査講評
【書道部門】

講評

宮崎県でも有名な延岡の地を訪れ、初めて美術展の審査を担当させていただく機会に恵まれ、誠に嬉しくありがたいことでありました。

延岡の書に接し、まず感じたことは明時代の張端図や玉鐸の作品を基調とした流麗な作品が多いことに驚きました。

また、書道展では縦形式の作品が主流を占めるのですが、横形式の作品が多いのも特徴であると感じました。

いずれにしても、出品された作品は実にレベルが高く、他のどの書道展に出品しても恥ずかしくない作品ばかりであると思いました。

特選 岡村公子(瑛翠)

数ある横形式の作品の中で、最初に目にとまった作。張端図の作品をも彷彿とさせる流麗な筆致で風格のある快作。文字の大小と墨の潤滑の変化が実に巧妙で素晴らしい。

準特選 伊藤由美子(春華)

字形が気品のある独特な世界を表出している。余白が実に美しく、穂先を駆使した鋭い筆致も見事。散らしと潤滑の巧妙な展開が紙面を格調高く見せている玉作である。

準特選 松田栞音(聖麟)

緊張感のある筆致で作品展開のコツを心得た素敵な連綿作。線質と潤滑の変化が抜群で何とも言えない魅力を感じる。二行目の「樹・聲・剣」の見せ場といえる表現が素晴らしい秀作。

書道部門審査員

松元 碩洲
日展会友



審査講評
【写真部門】

講評

昨年に続き皆さんの作品を拝見させていただきありがとうございました。今年も講評会には多数の参加者があり楽しい審査会になり感謝致しております。応募点数の半分は落ちてしまいますのでレベルの高い公募展と思います。

作品評価は先生によって違いますが、私の場合は作者の狙った物が画面内から強調出来ているかがポイントです、それには写真の基本的な事が大切だと思います。

今回気になった事は、作品内容は良くても最終の仕上げが悪く落選した人が数名いましたのでパネル加工まで仕上げを大切にしてください。限られた数の賞に入るには他の作品より何か優れた物がないといけません。それにはワンポイント味付けがあるとシャッターチャンスが良いとか、大きなサイズでのプリント又は組写真にするなど発表方法を考える等、毎回入選止まりの人は今までにない作品作りを期待します。

特選 延岡市長賞「初夏の教会」 前田 徳子

撮影場所の選び方が良く、ホテル、星の流れ、そして教会の中に人物を配した演出が見事です。夏の夜のメルヘンチックな絵画的作品として評価しました。どの様な作画技術か分かりませんが作者の作品制作の計算が見事です。

準特選 宮崎県教育長賞「春に包まれて」 植野浩人

記念写真的作品は結構難しいテーマですが、この作品は撮影場所設定が良く、二人の明るい表情を捉えたシャッターチャンスが見事であり爽やかな作品に仕上がりました。主題の人物に対して周辺の配仕方など作者の撮影技量が素晴らしい。

準特選 延岡市文化連盟会長賞「オスプレイダイブ」 高萩和夫

ミサゴの作品は殆ど捕食のシーンですがよく見かける写真は評価が低くなります。この作品はミサゴが海に飛び込んだ瞬間の飛沫の迫力を捉えました。あまり見た事のない作品であり大きなサイズでの出品がより作品内容を強くしました。

準特選 延岡市文化連盟会長賞「サンセットオキナワ」 多田綾子

組写真は1枚でも弱い作品が入ると失敗しますが、この作品は4枚全て上手く撮れています。組写真にする事により作者の狙いが強調出来ています。撮影技術と作品発表方法など写真感覚が素晴らしい。

写真部門審査員

蜂須賀 秀紀
二科会写真部名誉会員



審査講評
【デザイン部門】

講評

今回の審査にあたって、テーマがあるか、テーマが観る人に強く訴えられているかを観させていただきました。出品数は少ないながらもそれぞれがテーマを持ち、全く違う表現をされていて力作がそろっていました。

無鑑査の「陰陽魚マイクロプラスチック」は、使い捨てマスクやストロー、ペットボトルのキャップの集合体を、水中生物のような形と色彩で目を引き、コピーで考えさせるというまさにデザインとしてまとまっている秀作です。

「影を畏れ迹を悪む」は、歪んだ空間、逃げる少女と追う影、故事成語でもあるコピーもイラストとして溶け込みインパクトのある作品です。不安を抱え疲弊した現代人が多いと感じられる今の世の中に訴えかけるメッセージ性を強く感じました。

「タコ足配線」は、仕事や勉強など様々な悩みを抱えている現代人をタコ足配線に例え、丁寧に書き上げた作品です。アイデアがとても面白いと思いました。色彩も明るく、思いテーマをコミカルに表現できています。

「我唯足知」は、非常時後であろう地元の風景写真に力強い手書きの書を構成しており、地元への思いも感じられました。

「決めてなんかいられない！」は、主役である女の子の幼さを手書きで上手く表現した技術は素晴らしいです。将来への希望は明るい気持ちにさせてくれます。

「追憶」は愛犬でしょうか。深い愛情を感じ、ほっこりさせられる作品です。身近な幸せを大切にしよう、そんな気持ちになりました。

デザインは現代社会の抱える問題を扱うことが多いです。今回、有名人の悲しいニュースや災害への恐れなど不安を多く感じる現代人の心へ訴えるものが多かったように感じます。作者の思いが観る人に届き、何かしら前に進むきっかけになればと思います。創作する力は、人を幸せにする。そう信じて、これからも作品を作り続けて欲しいです。

デザイン部門審査員

川村 景子
久留米連合文化会デザイン部会員
宮崎県立日南くろしお支援学校美術教諭



■第74回延岡市美術展覧会 出品状況

部 門	出品者数			出品作品数			C 招待作家 無鑑査	合計 (無鑑査等含む)		展示作品数	
	A	うち2点 出品者	うち3点 出品者	一般	学生	B 小計		出品者数 A+C	作品数 B+C*	入賞 +入選数	無鑑査等を 加えた展示数
絵 画	42 人	8 人	0 人	49 点	1 点	50 点	4 人	46 人	54 点	32 点	36 点
彫刻 工芸	33 人	3 人	0 人	30 点	6 点	36 点	3 人	36 人	39 点	25 点	28 点
デザイン	7 人	0 人	0 人	5 点	2 点	7 点	1 人	8 人	8 点	5 点	6 点
書 道	43 人	0 人	0 人	37 点	6 点	43 点	7 人	50 人	50 点	32 点	39 点
写 真	68 人	26 人	2 人	96 点	2 点	98 点	2 人	70 人	100 点	51 点	53 点
合 計	193 人	37 人	2 人	217 点	17 点	234 点	17 人	210 人	251 点	145 点	162 点

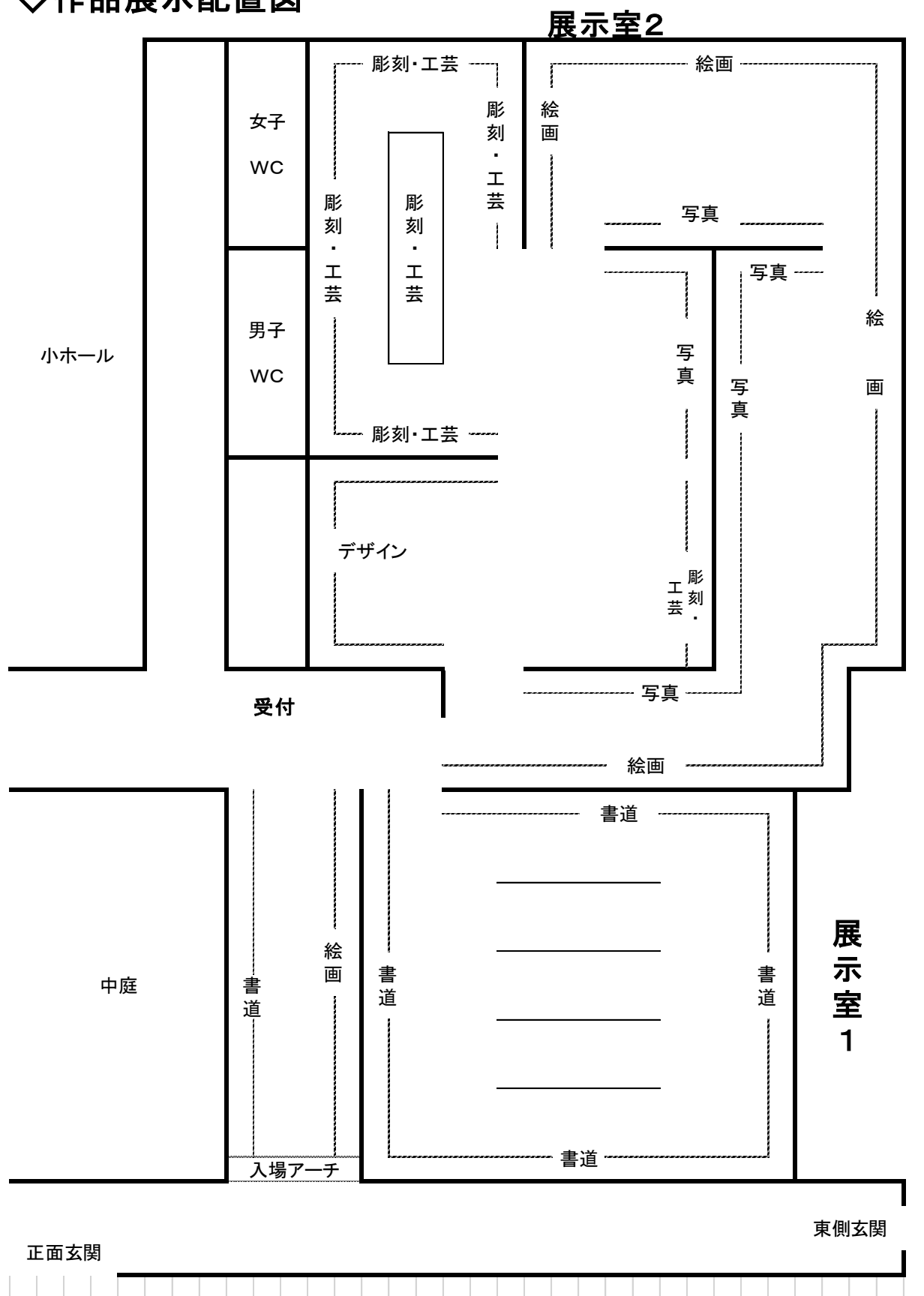
* 無鑑査より複数点出品者あり

- ◆招待作家 全国規模の公募展で、顕著な成績を残された方
- ◆無 鑑 査 延岡市美術展覧会の第25回展（改組第1回：昭和50年度）から起算して、「特選」（延岡市長賞）および、周年記念の大賞、特別賞を通算3回受賞された方

■第74回延岡市美術展覧会 賞の名称一覧

特 選	延岡市長賞
準特選	宮崎県知事賞 宮崎県教育長賞 延岡市教育長賞 延岡市文化連盟会長賞
奨励賞	延岡市議会議長賞 旭化成(株)延岡支社長賞 清本鉄工(株)社長賞 ケーブルメディアワイワイ賞 センコー(株)延岡支店長賞 延岡観光協会賞 延岡市医師会長賞 延岡市歯科医師会長賞 延岡商工会議所会頭賞 延岡市西臼杵郡薬剤師会長賞 JAみやざき延岡地区本部長賞 宮崎日日新聞社賞 タ刊デイリー新聞社賞 延岡市美術展覧会運営委員会会長賞 (順不同)
努力賞	※本市美展または他の美術展等での入賞歴は問いません。
プラチナ賞	※満80歳以上の方を対象とし、入賞歴は問いません。

◇作品展示配置図



■審査講評のようす



出品者のみなさまへ
この度はご出品いただきありがとうございました。
次回も力作のご出品を心よりお待ちしております。

延岡市美術展覧会運営委員会 一同

第74回延岡市美術展覧会

- 会 期 : 令和7年7月17日(木)～8月2日(土) 10:00～16:00
会 場 : 延岡総合文化センター 展示室1・2 ※毎週火曜は休館日です
主 催 : 延岡市美術展覧会運営委員会、延岡市、延岡市教育委員会、延岡市文化連盟
協賛・後援 : 宮崎県、宮崎県教育委員会、延岡市議会、旭化成(株)延岡支社、清本鉄工(株)
(株)ケーブルメディアワイワイ、センコー(株)延岡支店、(一社)延岡観光協会
(一社)延岡市医師会、(一社)延岡市歯科医師会、延岡商工会議所、(一社)延岡市西臼杵郡薬剤師会
宮崎県農業協同組合延岡地区本部、宮崎日日新聞社、夕刊デイリー新聞社
- (順不同)
-